



JMS CO., LTD.

株式会社 ジェイ・エム・エス

<http://www.jms.cc/>

証券コード 7702

2013年(平成25年) 3月期

2012年(平成24年) 4月1日 ~ 2013年(平成25年) 3月31日

連結決算の概要

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

決算期 2013年(平成25年) 3月期 — 増収増益 (9期連続増収) —

(%表示は、対前期増減率)

売上高 490.6億円 (4.8%増)

売上高	【国内】 - 「プラネクタ」付輸液セットや延長チューブの販売が引き続き伸長 - 人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移
	【海外】 - 北米向け成分献血用回路や東南アジア向け血液バッグ等の販売が好調に推移 - 北米向け誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加

営業利益 15.9億円 (51.5%増)、経常利益 18.7億円 (36.0%増)、当期純利益 12.7億円 (35.5%増)

利益	- 増収効果により新興国における労務費増加の影響を吸収 - 持分法による投資利益の計上や為替差益が発生
----	--

配当金

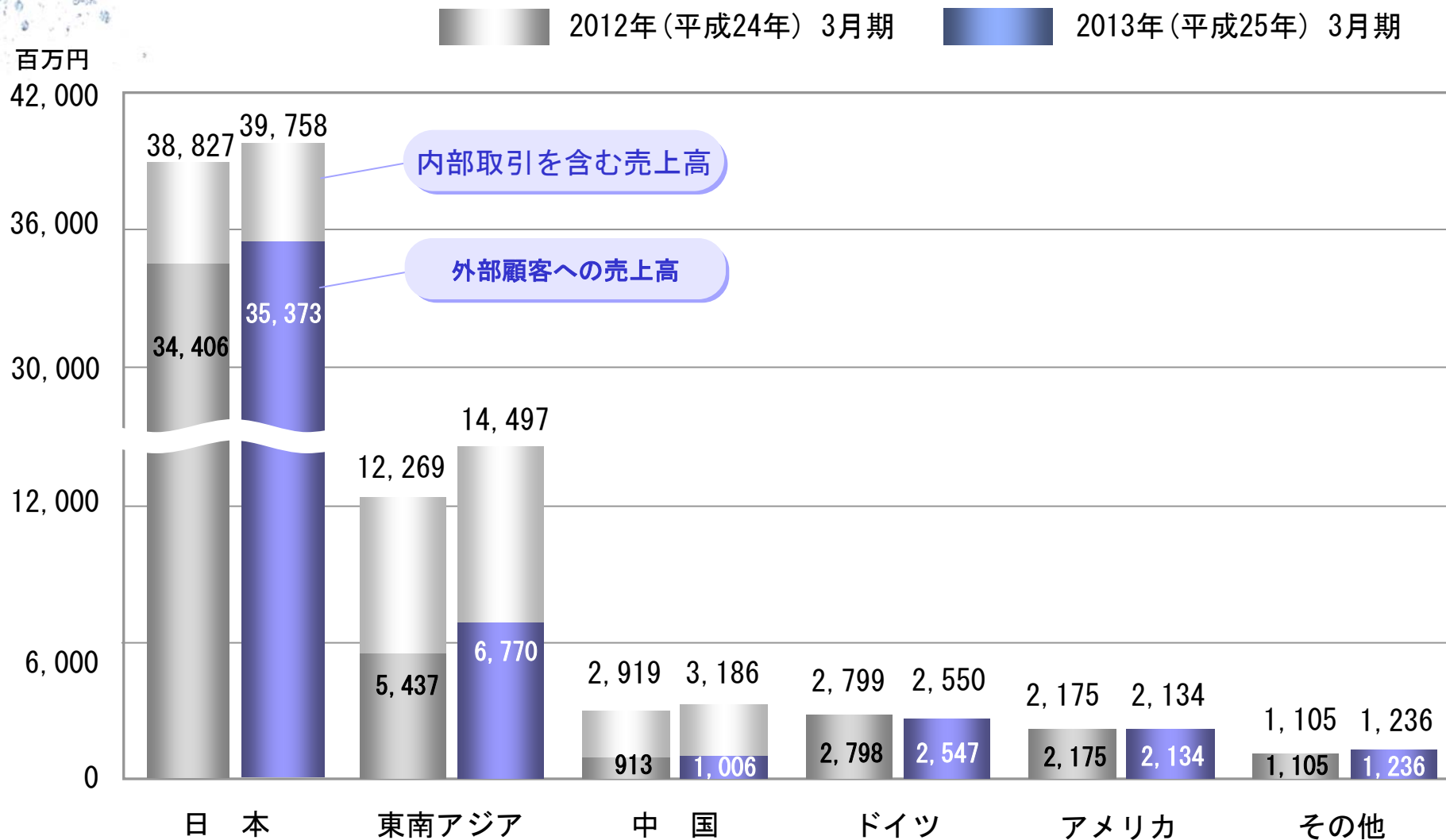
年間配当金は1株当たり8円（うち中間配当4円）を予定

— 増収増益（9期連続増収） —

百万円

	2012年 (平成24年) 3月期 実績	2013年 (平成25年) 3月期 実績	対前期 増減率
売上高	46,836	49,068	4.8%
営業利益	1,052	1,594	51.5%
経常利益	1,382	1,879	36.0%
当期純利益	942	1,277	35.5%
一株当たり 当期純利益	21.84円	29.41円	---

セグメント業績・売上高



セグメント業績・利益



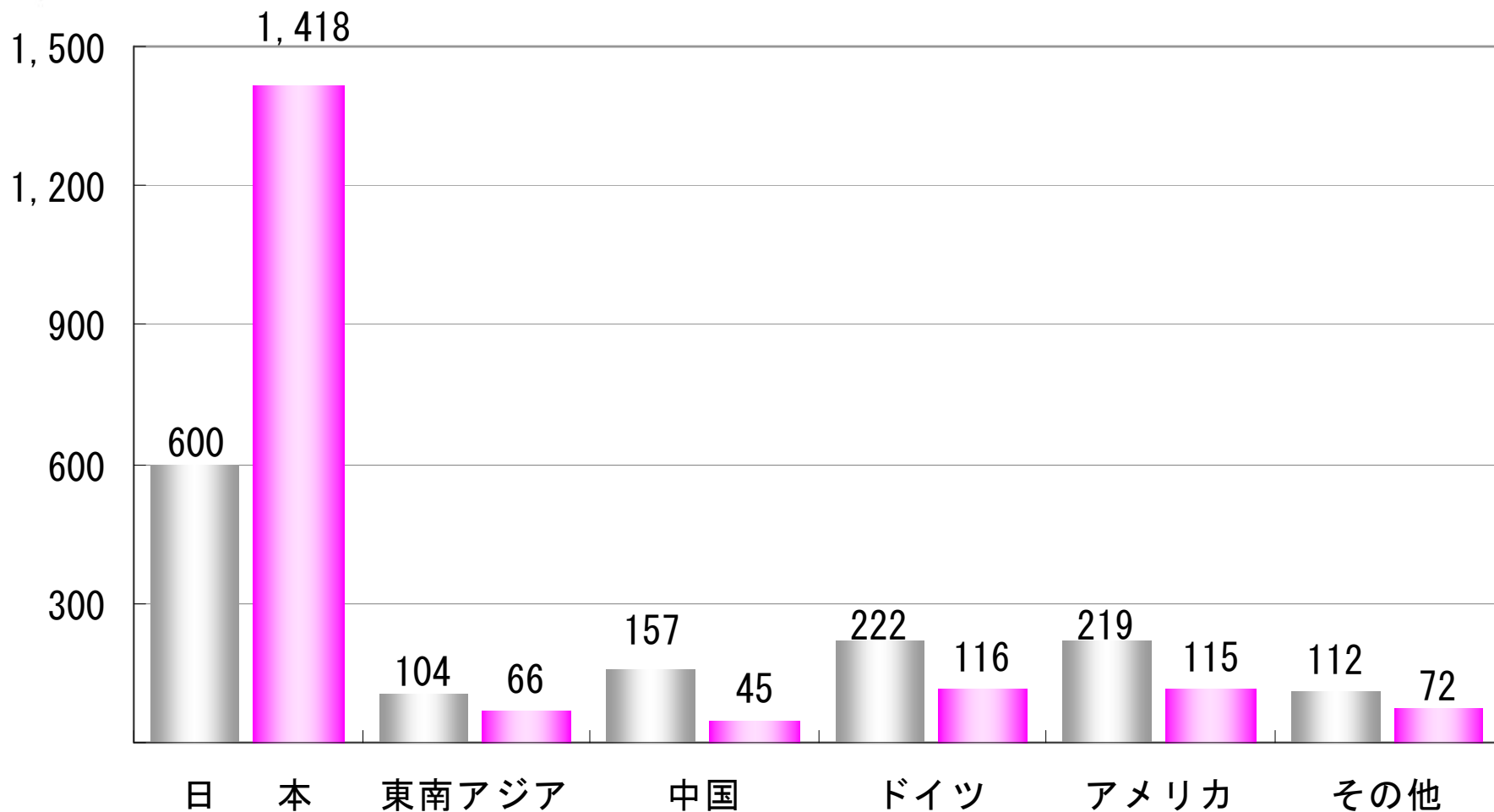
百万円



2012年(平成24年) 3月期



2013年(平成25年) 3月期



セグメント業績



対前期増減率



日本

売上高	39,758 百万円	2.4%
セグメント利益	1,418 百万円	136.2%

「プラネクタ」付輸液セットや延長チューブの販売が引き続き伸長し、また、人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移。



東南アジア

売上高	14,497 百万円	18.2%
セグメント利益	66 百万円	△35.8%

北米向け成分献血用回路や東南アジア向け血液バッグの他、日本向け人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移。



中国

売上高	3,186 百万円	9.2%
セグメント利益	45 百万円	△70.9%

北米向け及び中国国内向けA V F針（血液透析用針）の販売が拡大。



ニードルレスアクセスポート「プラネクタ」付輸液セット

輸液セットは人間の体液に必要な水分や電解質を投与するために使用する医療機器です。「プラネクタ」は輸液セット等に対し金属針を使用せず接続が可能なニードルレスアクセスポートで、患者さんにとっては薬液や血液の汚染要因を減少させ、医療従事者の方々にとっては針刺し事故を防止するため、双方への感染リスクを大幅に低減します。



人工腎臓用血液回路

血液透析を行う際、体外へ取り出した血液を、血液透析装置を用いて循環させるためのチューブです。

セグメント業績



対前期増減率



ドイツ

売上高	2,550 百万円	△8.9%
セグメント利益	116 百万円	△47.6%

ドイツ国内向けA V F針の販売が堅調に推移したものの、透析用チェアーの販売が減少したことに加え、円貨換算により売上高は縮小。



アメリカ

売上高	2,134 百万円	△1.9%
セグメント利益	115 百万円	△47.5%

北米向け誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加したものの、大口顧客の在庫調整に伴いA V F針の販売が減少。



その他

売上高	1,236 百万円	11.8%
セグメント利益	72 百万円	△35.5%



A V F 針（血液透析用針）

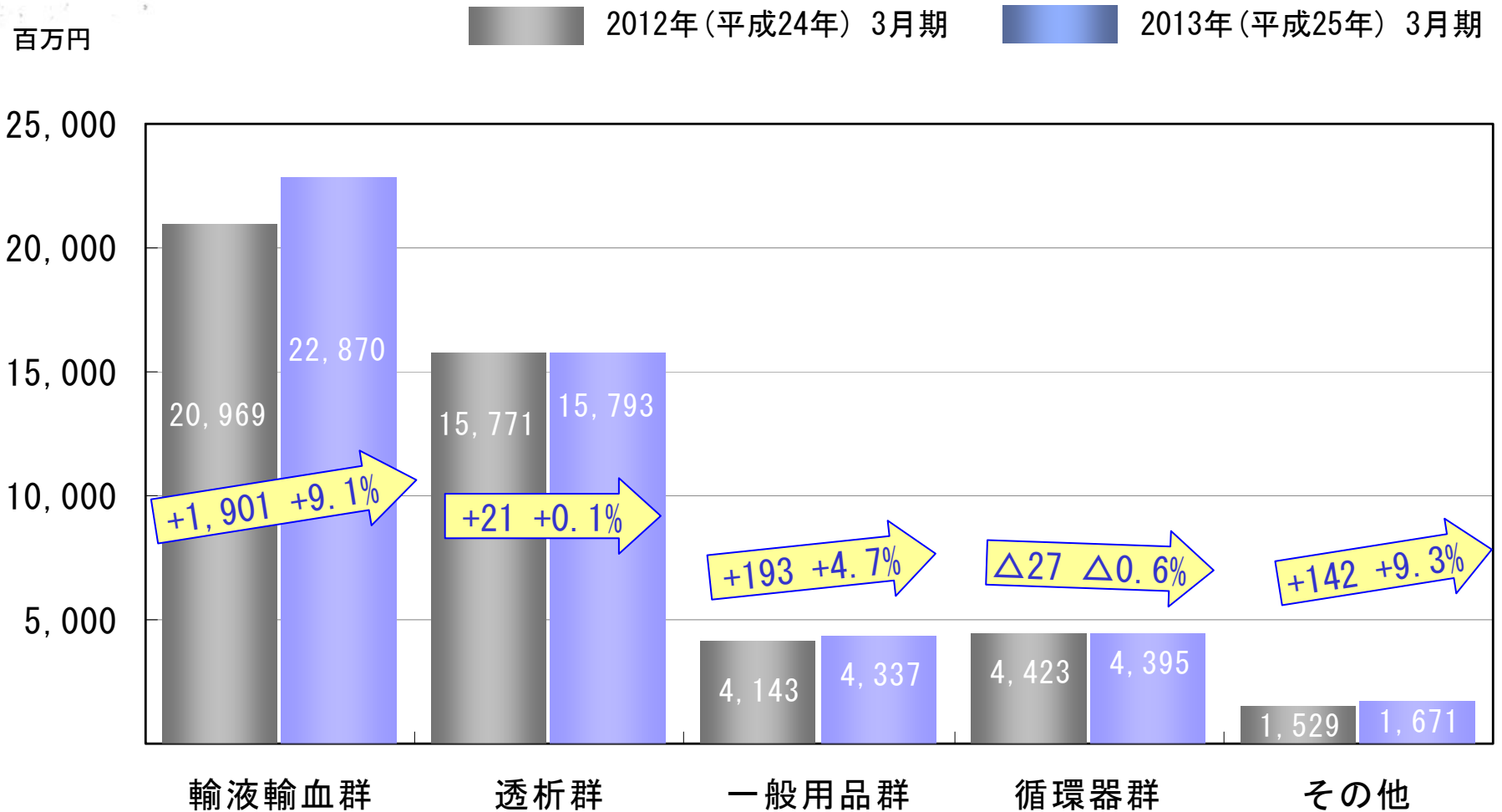
血液透析を行う際に、シャント（動脈と静脈を接合した部位）から血液を体外へ取り出すための針です。



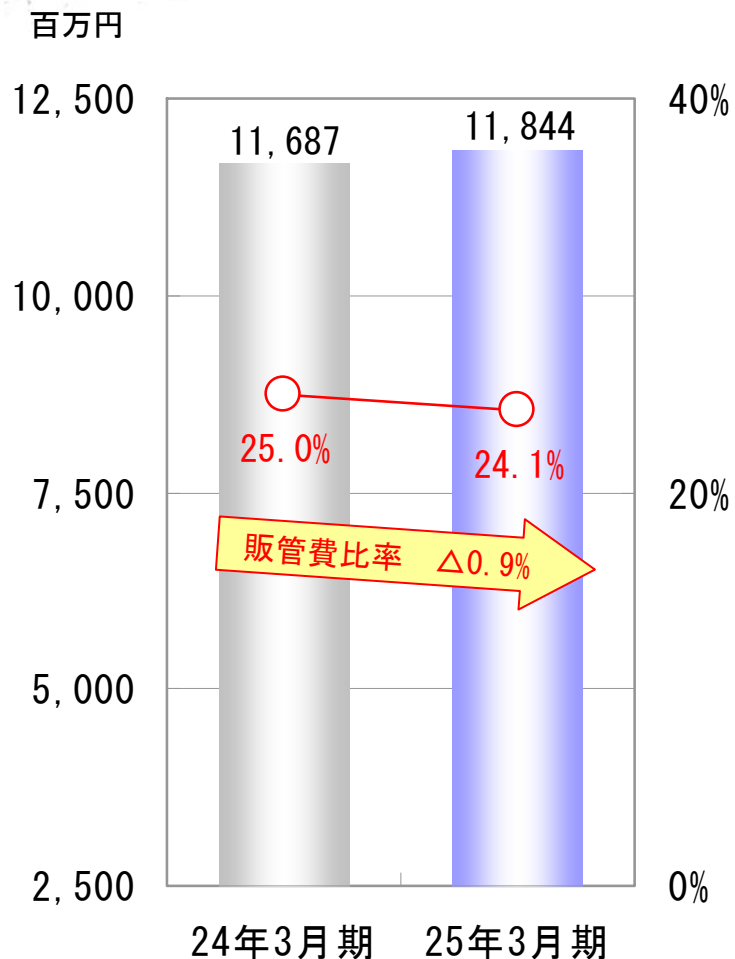
誤穿刺防止機構付翼状針

静脈注射や採血、点滴に使用するチューブがついた注射針で、固定しやすい形状になっています。使用后、チューブを引くと針先が本体に収納され、針刺し事故を防止します。

売上高／システム別



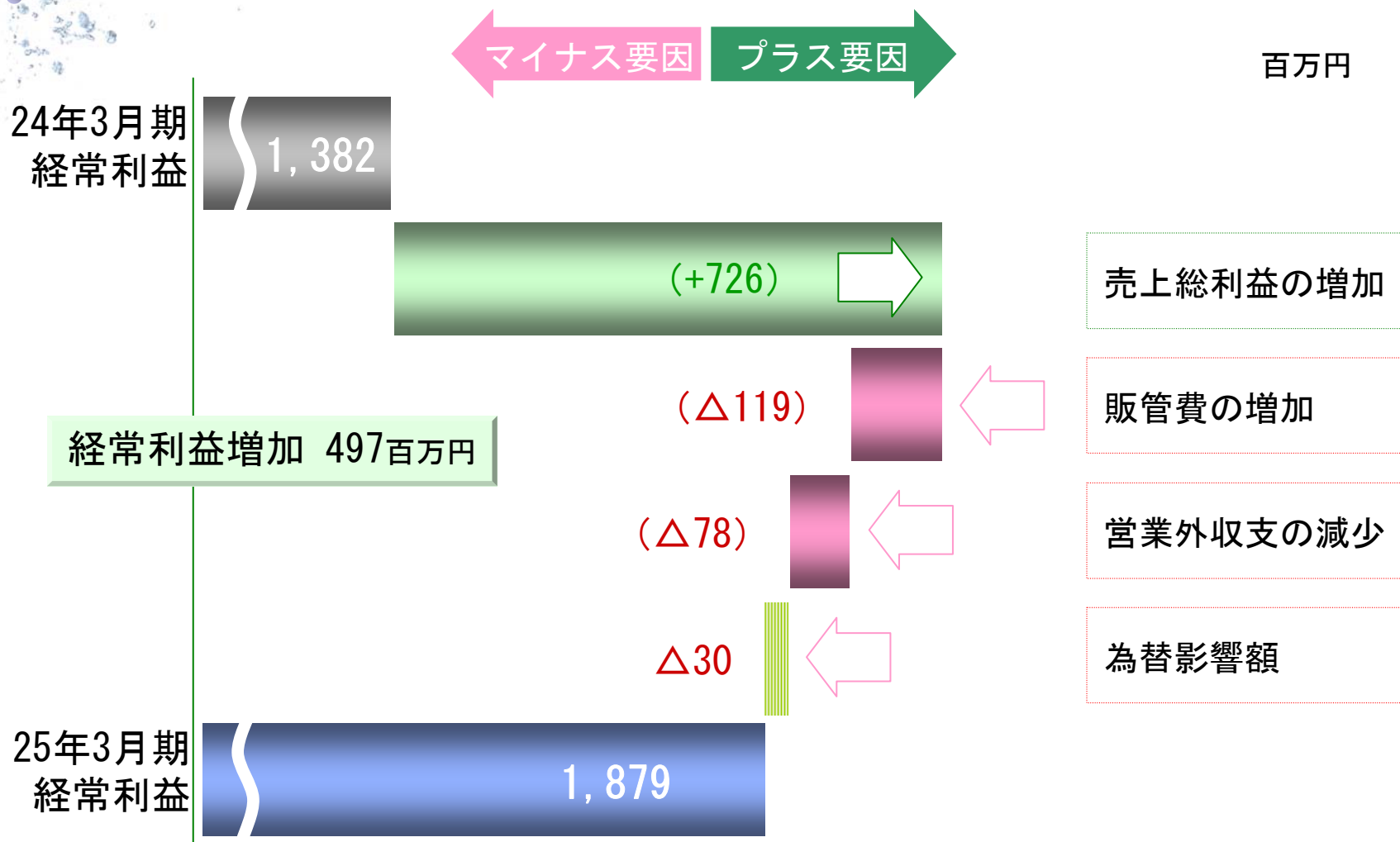
販売費及び一般管理費



百万円

	2012年 (平成24年) 3月期	2013年 (平成25年) 3月期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	5,212	5,275	63	1.2%
運 送 費	1,309	1,401	92	7.1%
研究開発費	1,427	1,243	$\Delta 183$	$\Delta 12.9\%$
減価償却費	458	345	$\Delta 113$	$\Delta 24.7\%$
そ の 他	3,280	3,578	297	9.1%
計	11,687	11,844	156	1.3%

経常利益：前期実績との比較



()内は為替影響を除く

平成26年3月期 通期連結業績予想



百万円

	2013年 (平成25年) 3月期 実績	2014年 (平成26年) 3月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	49,068	51,500	5.0%
営業利益	1,594	2,100	31.7%
経常利益	1,879	2,300	22.4%
当期純利益	1,277	1,400	9.6%
一株当たり 当期純利益	29.41円	28.70円	---

当社グループでは「医療の安全」「医療の効率化」「再生医療」の3つをキーワードとして、市場の変化に的確に対応しつつ医療の安全に貢献する製品の販売を拡大し、また、あらゆる面で原価低減を推し進め収益拡大に努めてまいります。更に、自社の技術を活かした製品の差別化とともに、アライアンスによる製品群の拡充を図って販売を進めてまいります。

※日付:プレスリリース開示日

- **パイオニア株式会社と医療用レーザー血流計の開発委託契約を締結**
2013年(平成25年) 3月21日
- **公募及び第三者割当による新株式発行並びに株式売出しに関するお知らせ**
2013年(平成25年) 2月21日
- **交換用胃ろうカテーテル キット『ジェイフィード ペグロック』 販売開始**
2013年(平成25年) 2月15日

交換用胃ろうカテーテル キット
「ジェイフィード ペグロック」



ジェイ・エム・エスは、「患者様第一主義」を企業理念に掲げ、医療に貢献する企業として活動を続けています。

ジェイ・エム・エスは、これからも
[お客さまに感動を与える製品とサービスの提供]を基本方針に、
医療従事者の方々、患者様・ご家族、一人ひとりに、笑顔と元気
を与え、より多くの幸せを創り出すことに、グループ一丸となっ
て専念して参ります。

今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。